



# 雪谷の清流

岩手県立軽米高等学校  
学校通信 47号  
令和2年1月24日発行

## 令和2年スタート 授業始め式 1月9日(木)

「令和」となり初めての年が明けました。本年もよろしくお祈りします。

授業始め式での高橋正勝校長の挨拶を紹介します。昨年末の生徒による除雪作業のお礼と先月アフガニスタンで銃弾に倒れた中村哲さんや岩手の偉人、後藤新平や新渡戸稲造の功績や実績を上げながら、「個性」について話されました。

『これから企業が求める人材はこれまでの「能力」ではなくその人間の「個性」（気質や性格の要素も含む）であること。人間の役割は、平和や環境、健康や福祉教育という高いレベルで国を進展させ、国どうしの協調を牽引する時代になる。柔軟性や適応力、発想力、センスやコミュニケーション力などの多様で豊かな個性が大事となる。Society5.0(情報通信技術社会)に対応できる人材として、自分の個性をどこまで豊かにできるか、社会をどのように調和させるかの作業を高校生の時から意識しよう。』



## 5校による『冬季合同学習会』を開催 1月6・7日(月・火)

今年で4回目となる、近隣高校による冬季合同学習会を軽米高校で開催しました。本校の他、葛巻・伊保内・大野・種市の各校から1・2年生合計63名が受講しました。1・2年生の数学は、葛巻高校の木村基校長に担当していただきました。英語は、本校の石村隆彦先生、富樫奈津子先生が担当しました。各校の大学進学を目指す生徒にとって、今回の学習会は、教科の学びだけではなく、互いに刺激しあう環境となり、学習意欲の高まりや進路実現に向けた準備が明確となるきっかけとなりました。また、近隣学校間で連携・協力して学力の向上を図ろうとすることは、教員にとっても大変勉強となり、今後も継続していきたいと考えています。



## 大学入試センター試験に臨む 軽高生16名



今回が最後となる大学入試センター試験に、本校では16名が受験しました。1月16日(木)には、出発式が行われ、高橋正勝校長からの激励のことばや小坂縁学年長からの本番直前の心構えなどが伝えられました。受験生を代表して、小林美慶さんは、「これまでの指導に感謝したい。勉強してきたことを十分に発揮できるように頑張ってきます。」と決意を述べました。

翌17日(金)、1校時目終了後に学校を出発する際には、在校生がベランダからエールを送り見送りました。センター試験は1/18・19(土・日)に行われ、本校生は、岩手大学で受験しました。

センター試験後は、2月に国公立大学の二次試験があります。生徒たちは、それぞれの志望大学合格に向けた取り組みをはじめています。



## 思春期保健講演会 1月10日(金)

1月10日(金)、1年生を対象に思春期保健講演会を開催しました。命の大切さや異性を尊重する態度、思春期の性や健全な母性や父性を理解し、適切な行動ができる能力や態度を育むことを目的に、二戸病院から2名の講師をお招きしました。心身の発育・発達 of 著しい思春期にある高校生として、自分を大切にすることや妊娠や性感染症予防について正しく理解することなど、スライドを使い講演していただきました。

講演後の感想には、家族への感謝や相手を思いやること、自分の行動に責任を持つことなどの記載がたくさんありました。



## 先輩に学ぶ会 1月16日(木)



1月16日(木)、3年生Aコース生徒から1年生への進路講演「先輩に学ぶ会」を開催しました。

就職、専門学校、公務員を合格した3年生より、進路選択のアドバイスや合格秘話を話してもらいました。1月23日(木)には、3年Bコース生徒による大学進学等に係わる学ぶ会を開催しました。

## 1学年『救命普通講習』を受講 12月4日(水)



12月4日(水)、軽米消防署より講師をお招きし、救命普通講習を開催しました。AEDの使い方、胸骨圧迫、人口呼吸の他、異物除去や止血について実習しました。「今日、学んだ知識は必ず大切な人の命を守ることにつながる。勇気を出して命を繋げたい。」という感想がありました。

## 主権者教育 12月16日(月)

12月16日(月)講師に岩手日報社NIE・読者部の磯崎真澄氏をお招きし、全校生徒を対象に主権者教育を開催しました。新聞の特徴や記事の構成、読み方のコツなどを紹介され、多様な情報に触れる大切さについて講演いただきました。「情報があふれている中、自分で考えることが大切。選挙で意見を反映させることが重要だと感じた。」などと生徒の感想もあり、社会の一員としての自覚を高めることができました。



## 中高一貫教育「理科の交流授業〈豚の目の解剖〉」 12月12日(木)

昨年度に引き続き、軽米中2年生を対象に、「理科の交流授業〈豚の目の解剖〉」を本校の理科(生物)の鈴木麗先生が実施しました。中学生からは、「最初は怖かったけど、実物を見たり触れたりして、教科書ではあまりわからないところが分かりました。水晶体がブヨブヨしていたけど、新聞の上に乗せると文字が大きくなって、ここまで進化してきた生き物のすごさを感じとれた。」などの感想が寄せられました。

